

新型『トライトン』が2023年「ASEAN NCAP」で最高ランクとなる評価を獲得

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、新型1トンピックアップトラック『トライトン^{*1}』が、アセアン地域の新車を対象に安全性能を総合評価する「ASEAN NCAP^{*2}」において、最高評価となる5☆（ファイブスター）を獲得^{*3}したことを発表しました。

三菱自動車は、交通事故ゼロのクルマ社会に向けた安全理念を掲げ、安全技術の開発・普及と、交通安全教育の2つの側面から取り組みを進めています。

*1：『トライトン』は一部の国・地域では『L200』として販売

*2：New Car Assessment Program for Southeast Asian Countries の略称

*3：シングルキャブ、クラブキャブ、ダブルキャブすべてのボディタイプ



新型『トライトン』（タイ仕様ダブルキャブ）

新型『トライトン』は、衝突時のエネルギー吸収とキャabinの変形抑制を両立させた衝突安全強化ボディ「RISE^{*4}」に加え、高い乗員保護性能を実現するよう設計したシートベルトと7つのSRSエアバッグ^{*5}を採用。また、全車に標準装備した横滑り防止装置「ASC^{*6}」をはじめとした安全装備や、衝突被害軽減ブレーキシステム「FCM^{*7}」などの採用により高い予防安全性能も確保しています。

新型『トライトン』は、三菱自動車の1トンピックアップトラックで、そのルーツは1978年に発売された『フォルテ』に遡ります。以来45年間で5世代にわたり約560万台を生産し、世界約150カ国で販売してきた三菱自動車の世界戦略車です。「Power for Adventure」という商品コンセプトのもとで開発を進め、内外装デザインからシャシー、ラダーフレーム、エンジンなどを一新し、今年7月のフルモデルチェンジで6代目となり、生産工場のあるタイより発売を開始しています。来年初頭には日本でも発売します。

*4：Reinforced Impact Safety Evolution

*5：装備はボディタイプとグレードによる

*6：Active Stability Control

*7：Forward Collision Mitigation system、歩行者検知付

以上